

学 校 だ よ り

平成30年11月 2日発行
小野市立旭丘中学校
TEL 0794-63-2750



全国学力・学習状況調査結果について 校長 駒田 一敏

「酷暑」から「厳冬」へと季節は移り変わるなか、今はつかの間「実りの秋」。保護者の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。本年度に9年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査について、本校生徒の検証結果のまとめができましたので、ご報告いたします。

現在、日本の教育では、身につける知識や技能だけでなく、それを活用する「思考力・判断力・表現力」、さらには「学びに向かう力・人間性」が重要視されています。それは、より良い社会を創り出すとともに、個々の幸福な人生に繋がる「生きる力」だからです。

本校生徒が将来と社会に目を向け、自らの「志」を抱いて人生を生き抜く力を身につける教育は、ご家庭の協力なくしては実現いたしません。どうか、これからも本校並びに本校校区の教育活動にご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

【本校の調査結果について】

1 教科に関する調査結果（概要）

- ◇ 今年度は、国語・数学・理科の3教科による全国一斉調査の実施となりました。本校では、国語・数学・理科ともに基礎・基本の学力は定着しており、「十分に良好」な状況です。
- ◇ 今年度においても基礎的・基本的な知識・技能を活用する力も、「活用できている」状況です。さらに、「無回答率」が低く、学習に対しては粘り強く取り組む姿勢が伺えます。



国 語 科

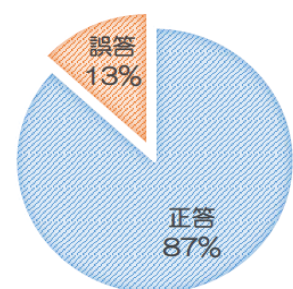
★優れている点

漢字を「読む」「書く」に関する設問の正答率が高く、言語における「知識・理解・技能」の定着度をはかる設問についても比較的よくできています。

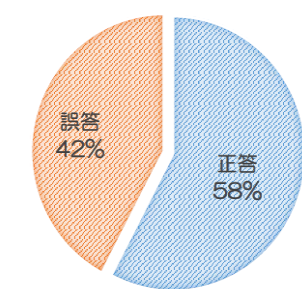
★課題となる点

目的に応じて適切な文を書き表現すること、語句の意味を理解し適切に使うことが課題です。授業の中で、語彙力の向上や話し合い活動を繰り返し、読解力や表現力を育てることが今後の課題です。

漢字の「読み」「書き」



情報を読み適切に文を書く



数 学 科

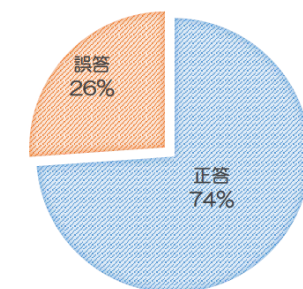
★優れている点

数と式、図形、関数、正・負の計算や文字式、方程式の計算はよくできています。少人数授業やおの検定への取り組み成果が表れています。また、関数の意味やグラフの読み取りについてもよく理解できていました。

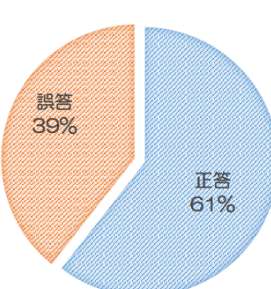
★課題となる点

文章で説明する項目が課題です。時間・距離・速さの関係を資料から読み取り説明するなど数学的表現を用いて自ら論理的に表現することが課題です。授業中、演習を通して表現力を高めていくことが今後の課題です。

基礎・基本的な計算問題



文章で説明する問題



理 科

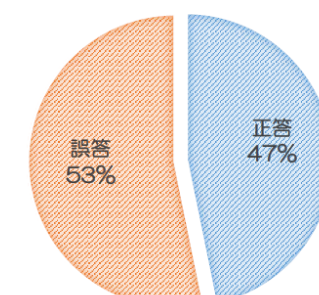
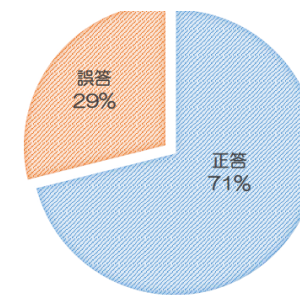
★優れている点

物理、化学、生物、地学分野の基本的な知識や技能に関する設問はよくできています。また、グラフを読み取る能力も身につけています。授業中の実験や観察の結果を通して学習した内容が基礎・基本として定着できています。

★課題となる点

風向の予測や化学反応式などの抽象的な概念を用いて考察し表現することが課題です。知識を問うだけでなく、思考・判断力・表現力の向上を目指すことが課題です。

4分野の基礎・基本の知識 資料の読み取りと知識の活用



2 生活習慣や学習教科に関する調査結果（概要）

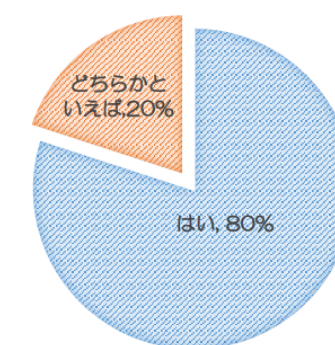
★概ね良好な項目

- 「学校の規則を守っている」「人の役に立つ人間になりたい」「家庭で、学校の宿題をしている」「家の人と学校での出来事について話をする」「理由の如何にかかわらずいじめはよくない」の質問に「はい」と答えた生徒の割合は高く、本校生徒の規範意識や自己有用感の高さが伺えます。
- 本校の生徒は、「仲間を大切にすること」や「仲間と協力してものごと到最后まで取り組み「うれしさ」や「達成感」が感じられる生活ができています。

★やや不十分な項目

- 「自分で計画を立てて勉強している」「学校の時間以外に、1日当たりの読書の時間」「新聞を読む」という質問に関しては、「はい」と答えた生徒は比較的少なく、自主性や計画性がやや弱い傾向にあります。
- 家庭でのスマートフォンや携帯の使い方に対する意識は、年々高まっています。しかし、家庭での時間の使い方においては、1時間以上テレビ等の視聴に使う生徒の割合が多いです。生徒が自ら家庭学習を計画的に取り組み充実したものにするためにも、家庭での時間の使い方が今後の課題であると思われます。

学校の規則を守っているか



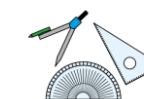
3 今後の指導について

◇学校の取り組みと今後の対策◇

- 小中一貫教育の利点を活かし、「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業展開を進めます。生徒の自立と学力向上を目指し、ICT機器（コンピュータ、プロジェクター、実物投影機等）を活用して視覚的にも理解を深め、「魅力ある授業」「分かる授業」づくりを進めます。また、昨年度1月に実施した到達度テストの課題である「読解力」「表現力」の向上を目指しています。
- 国語では、漢字や語句の「読み・書き」などの基礎的な学力の充実を図っていきます。特に「語彙力の弱さ」による読解力の弱さが課題としてあげられます。授業では、言葉の意味をとらえ、描写から主人公の心情等を的確に読み取る力を育てること、古典文学に触れる機会も今後の授業の中で増やしていきます。また、読書習慣の定着を図るなど、様々な文章に触れ言葉の意味を文脈の中で理解し自分の考えをまとめ発表する機会を工夫し、コミュニケーション能力の向上を図ります。
- 数学では、今後も少人数学習を活用し、個別学習の充実を図り、基礎基本の定着や答えだけでなく資料等の情報から理由などを説明できる教材開発や表現する機会をつくり、論理的な思考力や応用力、表現力が身につく授業を目指します。
- 理科では、今後も本校の取り組みの一つのウォーミングアップ学習で基礎的・基本的な計算問題を積極的に取り入れ、計算力の向上を図っていきます。また、様々な実験から導き出した結果を正しく理解することや、日常生活等に活用できるように生徒の興味を高める授業を目指します。

◇ご家庭へのお願い◇

○生徒会を中心に取り組んでいる「旭丘☆スマホ宣言」により携帯・スマホや通信機能付き音楽プレーヤー・ゲーム機の使い方について意識している生徒が増えました。小野市教育行政顧問である東北大学 川島隆太先生の研究で、子どもの長時間のスマホ利用で「2時間の学習効果が消える」ということが判明しました。子どもたちが犯罪被害や、いじめ問題等のトラブルに巻き込まれないために、また集中力不足、睡眠不足、学習効果の低下等の二次的な弊害につながらないように、家庭でも保護者の責任・管理のもと子どもの成長に応じてルールをつくり、指導・管理の徹底をお願いします。



学校での出来事を家族と話すか

